

Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTION

REPORT (2003-6-1 CYCLE)

Experimental Group	E546(π AX)	Reporter	篠原厚
Scheduled Period and Shift	2/23 17:00 - 3/5 9:00 31 shifts	Main, Sub, Para	Para

Experimenters 二宮、杉浦、笠松、菊永、佐藤、吉村、高宮、浜島、横山、篠原

SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS

1) セットアップ立ち上げ

- ・チェンバーのセット、カウンターセット
- ・チェンバー立ち上げ、テスト
- ・ビームチューニング

2) 基礎データ収集・本測定

3) 結果

- ・新セットアップの立ち上げ完了
- ・前回よりビーム効率が向上し、有効な測定が出来た。
- ・電子X線のエネルギー測定
(Mo、Sn、Ba、Nd、Gd、Dy、Ho、Yb、Ta、Hg、Pb 各金属箔もしくは酸化物)
- ・X線の相関測定
(Mo、Mo酸化物、Sn、Sn酸化物、Sn硫化物、Sn+S混合物)

EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.

マシンタイム : $31 \times 1.0 / 1.0 = 31 \text{ shifts}$

ビーム状態 : 安定 $1.0 \times 10^{12} \text{ ppp}$

DownTime : 特に二月中 約0.5shiftsダウン

COMMENTS

- ・立ち上げ終了。測定は比較的順調に行われました。
- ・冷却系の修理のためビームが止まるかもしれないとのことで、測定を優先させた電子X線のエネルギーについては十分な測定が出来ましたが、X線の相関測定については予定以上に多く前者の測定に時間を費やしたため、十分な統計が得られなかった。